

【活動内容】

- ・テーマ 「かぶ」

5歳児児童クラスの夏野菜の水やりを一緒にしたことで自分たちも野菜を育てたいという気持ちが出てきた。読み聞かせで“おおきなかぶ”をよく読んでいたこと、また自分たちでもよく読んでいたのでより興味を持った。他にかぶの絵本がないかと探したところ“おおきなかぶとちいさなかぶ”的絵本を見つけ子ども達に読み聞かせをする。絵本の中でかぶを抜く場面を見て「すっぽーんしたい」という声があり、かぶを育てることにする。

・活動スケジュール

かぶを育てる

クッキング (型抜き)

「種まき」

水耕栽培、土壌栽培の2種類の栽培を行う。水耕栽培では2種類のかぶの種を用意する。ウレタンのくぼみに種を2粒ずつ入れる。種が小さい為つまむのに苦戦するも最後まで集中し行う。



土壌栽培ではプランターとペットボトルでの栽培を行う。ペットボトルは一人一つ用意し、自分のかぶを育てる。自分のペットボトルに土、種、栄養剤などこぼれないように入れる。保育者が種の上に土をかける際おふとんかけてねというと「おふとんー」と嬉しそうに行なう。



水をあげに行くたびに大きくなったかな?と楽しみにしている子ども達。葉っぱが出ている事に気づくと「見て!葉っぱ。」「かわいいね」と嬉しそうに見ている。また水を上げる際「おおきくな~れ」と声をかける姿ある。何色のかぶが出来るかな?と子ども達。何色かね?と聞くと「あか」「しろ」「むらさき」という声がある。水耕栽培は成長が遅く本葉が出るが実がならない。

「収穫」

収穫前にパネルシアターで野菜の色について話をする。畠から採った野菜は土がついている為みんな茶色。「かぶなにいろかな?」と楽しみにしている。かぶの根っこがたくさんありなかなか抜けず、「ん~」と言いながらも頑張って抜こうとする。抜けると「みてー」と嬉しそうに見せる。



水が入っているタライでかぶを洗う。「おふろ」と言いながら手でかぶを優しく洗い、泥が落ちると「しろいよ」「おっきい」「ちいさくてかわいい」「あかだ」など気づいたこと、感じたことを話す。



「クッキング」

クッキングで型抜きをする。スライスしたかぶをハートと星の型を使って行う。押す力が足りず苦戦するが型抜きできると嬉しそうに保育者やお友達に見せる姿がある。型抜きしたかぶはお昼の給食のシチューに、小さかったかぶはおやつの七草がゆにいれる。自分たちで作ったかぶという事もあり、かぶが苦手な子も食べていた。



「反省と振り返り」

幼児クラスが野菜作りを近くで見ていたこともあり、自分たちも作りたいと言う声が多かった中でかぶの作りを行ったことで、水やりに行きたい、行く?という姿見られた。また一人一つのかぶを作ったことでより愛着を持って育てることが出来た。かぶの食感など苦手な子が多かったが、じぶんたちで作りクッキングをしたことで、「作ったかぶ」「(名前)の」食べることが出来た。その後も給食にかぶが出てくると「作ったやつだよね」と言いながら食べる子が増え、食への意思欲が高まってようを感じる。水耕栽培では室内の環境で育つことが出来なかったが、常に葉の成長に気づいたり、葉(子葉、本葉)の違いを知ることが出来よかったです。

